

算

平成 30 年度の町の決算です。
町が行っている事業は、
皆さんが納めた税金や、
国・県からの支出金などでまかなわれています。
決算は、このお金が皆さんの暮らしやまちづくりの中で、
どのようにいかされてきたかをまとめたものです。
では、町の家計簿のあらましを見てみましょう。



一般会計

収入 74 億 8,355 万円

INCOME

・その他 (財産収入・分担金及び負担金・繰越金・繰入金・諸収入等) …7 億 8,388 万円 (10.5%)

・その他 (地方譲与税・地方消費税交付金等) …4 億 2,301 万円 (5.7%)



・使用料・手数料…1 億 6,007 万円 (2.1%)

自主財源…28 億 1,473 万円 (37.6%)

依存財源…46 億 6,882 万円 (62.4%)

※数字は四捨五入しているため、必ずしも合計と一致するとは限りません。

住民サービスの向上と新たなニーズに迅速かつ的確に対応できるよう、財源の確保に努め財政の健全化を図っています。

一般会計の収入総額は、74 億 8,355 万円です。収入は、自主財源と依存財源に分けることができます。

自主財源は、町税や使用料・手数料、財産収入、繰越金、繰入金など、町が独自に収入した財源で、平成 30 年度は 28 億 1,473 万円。そのうち町税は 18 億 7,078 万円で、収入全体の 25.0% を占めています。

依存財源は、地方交付税や国・県からの支出金、町債などで今年度は収入全体の 62.4% を占めています。このうち収入全体の 32.2% を占める地方交付税(全国各市町村の財政力のバランスを取るために国から配分されるお金)は 24 億 1,320 万円、国からの支出金は 6 億 7,978 万円、県からの支出金は 5 億 1,052 万円、町債(道路や公園、学校など町が行う建設事業などの資金を調達するために国などから借り入れるお金)は 6 億 4,232 万円となっており、依存財源による収入は 46 億 6,882 万円となっています。

地方債の残高

平成 30 年度の鞍手町の決算における地方債(借金)の残高は次のとおりです。

○地方債残高

会計の名称	平成 29 年度末残高 ①	平成 30 年度借入額 ②	平成 30 年度償還額 ③	平成 30 年度末残高 ①+②-③
一般会計	82 億 6,022 万円	6 億 4,232 万円	8 億 9,861 万円	80 億 392 万円
鞍手町流域関連公共下水道事業特別会計	35 億 8,487 万円	1 億 9,720 万円	1 億 5,061 万円	36 億 3,146 万円
地方独立行政法人くらて病院貸付金等特別会計	10 億 5,958 万円	3,500 万円	1 億 7,146 万円	9 億 2,312 万円
鞍手町水道事業会計	10 億 297 万円	0 円	5,536 万円	9 億 4,760 万円

まちづくりの基本となる第5次総合計画（前期）に基づき、 限りある財源の効率的な運用に努めました。

平成30年度はどんな事業にお金を使ったのでしょうか。一般会計の支出総額は、73億4,456万円です。町民1人当たり45万3,760円が使われたこととなります(平成30年4月30日現在人口16,186人)。

支出は、使われるお金の目的によって総務費や民生費、土木費などに分けられています。このうち最も大きな割合を占めているのが民生費で、障害者の自立支援費に5億2,080万円、介護保険広域連合への負担金として2億8,883万円、重度障害者や子ども、ひとり親家庭などの医療費補助に1億1,837万円使いました。また、教育費では、体育総合施設照明のLED化工事などに4,338万円、衛生費では、ごみやし尿の処理に3億4,723万円使いました。

決

一般会計

73億4,456万円 支出

EXPENDITURE



・農林水産業費…1億6,251万円 (2.2%)

・消防費…3億2,609万円 (4.4%)



・議会費…9,259万円 (1.3%)

項目別支出内訳

・災害復旧費…2,519万円 (0.3%)

・商工費…3,911万円 (0.5%)

民生費

- 障害者の自立支援に (5億2,080万円)
- 介護保険広域連合負担金に (2億8,883万円)
- 重度障害者や子ども、ひとり親家庭などの医療費補助に (1億1,837万円)
- 児童手当に (2億3,164万円)
- 老人保護措置の委託に (1,555万円)
- 社会福祉協議会への補助金 (4,292万円)
- 地域包括支援センター事業費に (3,411万円)

総務費

- 定住促進奨励金 (1,842万円)
- コミュニティバス等・路線バスの運行維持に (5,811万円)
- 防犯灯の管理に (328万円)

衛生費

- ごみやし尿の処理に (3億4,723万円)
- くらで病院の負担金に (2億8,819万円)
- 予防接種などに (3,288万円)
- 母子保健対策に (1,627万円)
- 合併浄化槽の設置補助に (846万円)

教育費

- 体育総合施設照明のLED化工事などに (4,338万円)
- 給食配送車の購入に (1,136万円)
- 幼稚園就園奨励補助金 (1,601万円)
- 外国青年招致事業に (980万円)

土木費

- 下水道事業の補助に (3億1,434万円)
- 道路や橋の新設や整備に (7,856万円)
- 河川の整備に (804万円)
- 町営住宅の維持管理に (7,336万円)

消防費

- 直轄広域消防の負担金に (2億7,443万円)
- 防災行政用無線の工事費に (562万円)

農林水産業費

- 多面的機能支払事業に (3,919万円)
- 活力ある高収益型園芸産地育成事業に (1,502万円)
- 水路やため池の整備に (1,447万円)
- 計画転作互助方式推進事業に (1,452万円)

商工費

- 特産品販売促進事業補助金に (263万円)
- 元気まつり補助金に (257万円)

災害復旧費

- 大雨で被災した道路などの復旧に (2,519万円)

財政健全化判断比率と資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、毎年度、市町村の財政状況に関する指標を報告することが義務付けられています。平成30年度の鞍手町の財政状況に関する指標は次のとおりで、健全化基準を超えている会計はありません。

○財政健全化判断比率

単位：%

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
鞍手町の比率	—	—	8.6	なし
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	基準なし

※ (—) 表示は黒字

○公営企業の資金不足比率

単位：%

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
鞍手町水道事業会計	—	20.00
鞍手町流域関連公共下水道事業特別会計	—	20.00

※ (—) 表示は資金不足なし

実質赤字比率…一般会計等の赤字から財政運営の深刻度をみる比率／連結実質赤字比率…町のすべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率／実質公債費比率…借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率／将来負担比率…町が抱える負債の残高から将来の財政への危険度をみる比率／資金不足比率…資金の不足割合から経営状況の深刻度をみる比率

国民健康保険事業特別会計

▷収入…19億6,134万円 ▶支出…18億7,685万円

自営業の人や退職者などの医療費を給付する会計です。主な収入は、保険税と県支出金。主な支出は、医療費や県に納める事業費納付金などです。

●対象者 2,498世帯 3,951人 ●1人当たりの医療費 381,052円



後期高齢者医療特別会計

▷収入…2億6,326万円 ▶支出…2億6,177万円

老人保健制度に代わり、平成20年度から始まった後期高齢者医療制度を運営するために設けられた会計です。県内のすべての市町村が加入する福岡県後期高齢者医療広域連合が運営主体となり、町と協力して制度運営に当たっています。平成30年度の対象者は、2,772人です。



住宅新築資金等特別会計

▷収入…52万円 ▶支出…52万円

旧同和地区の住宅環境を改善するための会計です。収入は、貸付金の回収金。支出は、一般会計への繰入金です。



流域関連公共下水道事業特別会計

▷収入…8億5,042万円 ▶支出…8億3,977万円

生活環境の向上と河川の汚濁防止を目的に下水道を整備するための会計です。支出の約58.3%は、中山地区などの下水道管の整備に使われました。また、9.2%は、中間市に建設している終末処理場（中間市、水巻町、遠賀町との共同事業）の建設負担金や維持管理負担金です。



かんがい施設維持管理運営費特別会計

▷収入…7,995万円 ▶支出…7,995万円

西川沿い11か所に設置されているポンプの維持管理をするための会計です。収入は、基金からの繰入金や基金を運用して購入した国債などの利息です（平成30年度は、利息等1,078万円を積み立てています）。支出は、運転手の賃金やポンプを稼働させるための維持管理費です。



谷山池パイプライン水利施設維持管理運営費特別会計

▷収入…1,851万円 ▶支出…1,851万円

農業用水を確保するために室木の谷山池から倉坂地区まで約13キロにわたって設置されているパイプラインを維持管理するための会計です。収入は、基金からの繰入金や基金を運用して購入した国債などの利息です（平成30年度は、利息等1,204万円を積み立てています）。



地方独立行政法人くらて病院貸付金等特別会計

▷収入…2億2,117万円 ▶支出…2億2,117万円

地方独立行政法人くらて病院（旧町立病院）への貸付金などを管理するための特別会計です。収入は、町が直接借り入れる町債や町債の償還に関してくらて病院から受け取る負担金です。支出は、町が借り入れた町債をくらて病院に貸し付ける貸付金や町債の元利償還金などです。



特別会計 (収入) **33億9,517万円** (支出) **32億9,854万円**

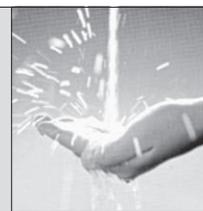
企業会計 (収入) **3億3,827万円** (支出) **3億3,589万円**

水道事業会計

収入…3億3,827万円 支出…3億3,589万円

水道事業の運営のために設けられた会計です。収入の大部分は、私たちが支払った水道料金です。支出は、安全な飲み水を作るための費用です。

●給水戸数 6,643世帯 ●給水人口 14,150人



一般会計のほかには、7つの特別会計と1つの企業会計があり、どの会計も私たちの暮らしを支えるために役立っています。



※数字は四捨五入しているため、必ずしも合計と一致するとは限りません。